東京外国語大学 国際関係研究所研究会

2026年米国中間選挙を読み解く

――トランプ支持連合の変化と通商政策の行方



2026年米国中間選挙の結果は、トランプ支持層の離反を意味するのだろうか。本報告では、2024年大統領選挙からの投票参加と政党支持の変化を区別し、トランプ支持連合の持続性を検討する。とりわけ、労働者層の投票行動と関税政策との関係に注目する。そのうえで、中間選挙後の大統領と議会の力関係を踏まえ、米国の保護主義的な通商政策の継続と変化の可能性を展望する。

報告

冨田 晃正 氏
東京外国語大学 総合国際学研究院 教授

コメント

佐藤 清子 氏
東京外国語大学 総合国際学研究院 准教授

司会

内山 直子 氏
東京外国語大学 総合国際学研究院 准教授

2026年12月1日(火)
16:15-17:45 (90分)

Zoomによるオンライン研究会・一般公開

お申込み（参加無料）
QRコードからお申込ください。
お申込期限 11月30日(月)正午

主催 東京外国語大学 国際関係研究所
iir-office @ tufs.ac.jp | www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/